

関東・甲信・静支部のうごき

平成17・18年度の関東・甲信・静支部事務局は「埼玉県環境科学国際センター」です。どうぞよろしくお願ひいたします。

平成17年度関東・甲信・静支部では7月末日現在までにおいて、以下の会議等を開催した。

1. 騒音振動専門部会(開催機関：山梨県衛生公害研究所)

7月8日(金)山梨県大月市(大月市民会館)において、11機関19名の出席を得て、下記の講演等及び施設見学を行った。

(1) 講演議題(5題)

- ①航空機から発生する低周波音について
(千葉県環境研究センター)
- ②新幹線トンネル出入口周辺の居宅における騒音発生状況について
(栃木県保健環境センター)
- ③複合交通騒音に対する住民反応について
(神奈川県環境科学センター)
- ④騒音に係る社会反応調査について
(東京都環境科学研究所)
- ⑤環境音に対する視覚障害者と健常者の反応
(横浜市環境科学研究所)

(2) 視察(山梨県立リニア見学センター)
センターの見学では、参加者よりリニアの騒音振動に関して、多くの質疑があった。

(3) 次回開催担当機関あいさつ
(栃木県保健環境センター)

(4) 閉会

2. 今後の支部の予定

今後の支部の総会及び専門部会等の予定は以下のとおりである。

(1) 平成17年度環境測定分析統一精度管理ブロック会議(関東甲信静支部会議)(開催機関：埼玉県環境科学国際センター)

開催日：平成17年8月2日(火)

場 所：埼玉県さいたま市(大宮ソニックシティ)

(2) 関東甲信静支部役員会

開催日：平成17年8月23日(火)

場 所：埼玉県北埼玉郡騎西町(埼玉県環境科学国際センター)

(3) 関東甲信静支部総会

開催日：平成17年9月15日(木)

場 所：千葉県千葉市(プラザ菜の花)

(4) 大気専門部会(開催機関：静岡県環境衛生科学研究所)

開催日：平成17年9月29日(木)～9月30日(金)

場 所：静岡県静岡市(静岡県男女共同参画センター)

(5) 水質専門部会(開催機関：浜松市保健環境研究所)

開催日：平成17年10月13日(木)

場 所：静岡県浜松市(研修交流センター)

(6) 水質専門部会東京湾連絡会(開催機関：川崎市公害研究所)

開催日：11月中旬

場 所：神奈川県川崎市(川崎市庁舎会議室)

中国・四国支部のうごき

中国・四国支部では、平成17年度から鳥取県衛生環境研究所が支部長県として事務局を担当しております。当支部では5月19日(木)、20日(金)の両日、岡山市において、地元岡山県環境保健センターのご協力を得て、平成17年度の支部会議を開催しました。以下、その概要を報告します。

1. 全体会議

(1) 事業報告

平成16年度の事業報告および収支決算について、前支部長県(高知県環境研究センター)等から報告が行われました。

主な活動報告は、支部会議および環境測定分析統一精度管理ブロック会議の開催、支部長表彰の選考経過等でした。

また、今回の会議で試行した会場設営や資料の準備等に関わる種々の簡素化は、支部会員の理解を得て、次年度以降さらに工夫していくことで合意しました。

(2) 特別講演

吉備国際大学の白井洋輔教授による「岡山文化の展開原理」と題した講演が行われました。

人間が辿ってきた文化の検証を通して、効率主義の危うさ等現代社会への鋭い警告とともに、目に見えるもののみを追いかけた哀れな20世紀の反省に立ち、危機をチャンスと捉えて見えないものに注力することで変わり得ることを力説されました。環境問題に関わる私たちにとっても、示唆に富む、非常に興味深い内容でした。

2. 部 会

以下のとおり、部会ごとにあらかじめ提案された議題について協議等を行いました。

① 所長部会

支部長表彰の見直し(記念品の廃止)、研究課題

採択に係る評価方法、分析技術の後継問題等について

② 庶務部会

企画調整及び情報業務に係る組織体制、施設の維持管理費用等について

③ 水質部会

難分解性有機物排出量調査、公共用水域の水質監視業務の外部委託及び精度管理等について

④ 廃棄物部会

溶融スラグの含有量基準に対する適合状況及び有効利用、ダイオキシン類・環境ホルモン等の測定での生物検定法の実施状況等について

⑤ 大気部会

有害大気汚染物質モニタリングの平成17年度以降の実施予定、一般大気環境中金属濃度の調査研究事例等について

3. そ の 他

全体会議に先立ち、環境保全・公害防止に係る業務に顕著な業績を挙げられた次の6名の方々へ支部長表彰を行いました。

鳥根県保健環境科学研究所	神谷 宏氏
岡山県環境保健センター	斎藤直己氏
山口県環境保健研究センター	梅本雅之氏
徳島県保健環境センター	村上憲司氏
香川県環境保健研究センター	藤田久雄氏
広島市衛生研究所	橋本和久氏

環境問題解決に向けて取り組むべき課題が山積する一方で、予算・人員の削減等厳しい状況に置かれている地方環境研究所ですが、優れた業績を社会に還元し、研究所の必要性、存在感をより一層アピールしていくことについて意を新たにしました。

(鳥取県衛生環境研究所)